

所属・資格 史学科・教授

申請者氏名 土屋 好古

研究課題		ロシア第一次革命と国会体制の成立
報告の概要	研究目的 および 研究概要	第一次革命とその結果生まれた国家ドゥーマの第1回選挙について研究を行う。1905年に起こった第一次革命の結果、1906年に国家基本法（憲法）が制定されるとともに、国民の選挙によって選出される国家ドゥーマ（下院）と、国家評議会（上院）の二院制による国会体制が成立した。この国会体制は、専制と議会政治の闘争と妥協の場となり、ロシアの政治を方向づけることになった。この体制が成立する契機となった第一次革命を検討するとともに、1906年3月から4月にかけて行われた第一国会選挙の労働者クーリアの状況を中心に分析を進める。あわせて、労働者の選挙行動に影響したと思われる1906年前半の大量失業問題についても分析・考察する。
	研究の 結果	今年度は、上記研究概要にしたがって国家ドゥーマ選挙およびペテルブルクにおける大量失業の問題、1906年第一四半期の同地における労働者の動向に関して、新聞を中心にデータ収集に努めた。検討を加えたのは、以下のような新聞である。Призыв, Курьер, Невская Газета, Голос Труда（順不同）。加えて、第一ドゥーマ関連の研究文献、ドゥーマ参加者の回想録などの一部を検討した。これまでの研究で明らかにしてきたペテルブルク労働者の当該時期の動向について、選挙ボイコットは広範に展開したが、その内実は確固たる意思統一によるものでは必ずしもないこと、その動機についてはさらなる検討を加える必要があることが、ここでも確認された。
	研究の 考察・ 反省	新たな史料の解読を進めた結果、新しい解釈を生み出すような事実が出てくるというよりも、これまでの研究で考察されてきた仮説がより高い確度をもって確認されたといえる。今後は、これらをもとにこれまでの考察・成果を整理し、不足をさらなる史料調査で補いながら、成果物にまとめていく必要があると考える。
研究発表 学会名 発表テーマ 年月日/場所 研究成果物 テーマ 誌名 巻・号 発行年月日 発行所・者	<p>※この欄は、本報告書提出時点で判明している事項についてご記入ください。</p> <p>研究成果物 書評（いずれも単著） 「長縄宣博著『イスラームのロシア帝国・宗教・公共圏 1905-1917』『ロシア史研究』103号、2019年7月、pp.119-125 「町田祐一著『近代都市の下層社会—東京の職業紹介所をめぐる人々』『史叢』101号、2019年9月、pp.43-46 項目執筆（同） 「日露戦争」沼野充義・望月哲男・池田嘉郎編『ロシア文化事典』（丸善出版、2019年10月）</p>	